

# これからもよろしくお願ひします



国際交流の集い参加者の皆さん～公民館も国際色豊かに～

# 文化なかの

中野市公民館報

2010 **11**  
No.68  
(通巻 No.600)

発行 中野市中央公民館  
編集 文化なかの編集委員会

〒383-0025  
中野市三好町一丁目4番27号  
TEL 0269-22-2691  
FAX 0269-26-2342

## 今月号の特集

しゃべくり公民館  
私の公民館の思い出  
紙面から見た「文化なかの」  
郷土の歴史を刻み続ける  
館報「文化なかの」  
「文化なかの」が出来るまで

中野市公民館報「文化なかの」は、昭和の一町八ヶ村の大合併後、昭和30年4月の1号から数え、今回、通巻600号を迎えました。

平成の合併で平成17年4月号から再び1号としましたが、中野町時代の昭和23年11月から、この名称で継続して発行されています。

今月は600号を記念し、通常の広報なかのとの合冊ではなく、別冊12頁(カラー2頁)で発行しました。記念号を編集するにあたり、関係者はじめ多くの方の協力でここに600号を無事発行できたことを喜び、協力して頂いた皆様に感謝申し上げます。

## あおぞら

長い歴史を積み重ねた「文化なかの」ですが、この時代を反映する世界の流行「ツイッター」に乗ってみるのも一興。1号から続く巻頭コラム「あおぞら」史上、最もシンプルに今の気持ちを表しました。

中央公民館な～う。 祝！600号発行(\*^w^\*)∟※。 ご苦労さん会が楽しみ！

(編集委員長 荻和武史)

# 公民館

## 中野市・公民館 今、昔 ～世代を超えて語ろう～

### 座談会参加者

- 児玉 侑朔さん (南宮中学校3年生)
- 高相愛里華さん (中野立志館高校3年生)
- 石澤 健さん (今年の成人式実行委員。大学生)
- 戸谷きょう子さん (公民館日本語教室ボランティア)
- 丸山 邦夫さん (中央公民館長)
- 倉田 隆志さん (文化なかの編集委員)
- 清水 幸美さん (文化なかの編集委員)
- 荻和 武史さん (文化なかの編集委員長) 座長

座長 「文化なかの」が11月で通巻600号になります。記念特集として、各世代の皆さんから、中野市や公民館活動についてお聞きしたいと思います。それでは、中野のまちについて思うことはありますか。

座長 若い人が遊びに行くのは、市内の大型店ですか。

高相さん 長野にも行きます。

児玉さん 僕は行かないけど、友達には市内の大型店とか長野に行きます。

座長 私が小さいころは、大型店が駅の横や今の陣屋前広場にあった。銀座通りには荒井屋というデパートがあり、ゲームセンターやカラオケボックスも街中にあつた。道路や街並みについてどう思いますか。



石澤さん 今、市内の大きい店へ買い物に行くが、昔、そういう店がなくなつたときは、どこへ行ったのですか。



丸山館長 私が小さいころ住んでいたところからは、中野の町までバス代10円だった。大きい店はなく、専門店が多かつた。魚は魚屋さん、下駄は下駄屋さん、そういう感じで賑わつ

座長 若い人が遊びに行くのは、市内の大型店ですか。

高相さん 長野にも行きます。

児玉さん 僕は行かないけど、友達には市内の大型店とか長野に行きます。



高相さん 小さい時住んでいた大阪に比べると、電車の本数が少なく、一時間も待つことにびっくりました。

戸谷さん 私が銀座通りのアーケードを知ったのは、結婚するときに初めて主人に中野を案内してもらったとき。8年前に永住する決心で、神奈川県から中野に来ましたが、道路が広く、とても快適で、渋滞もなくてうれしい。そこはとても満足して生活しています。

丸山館長 景色もいいし山も川もきれい。まちと田園風景があるのは素晴らしい。高社山はシンボルだし、原風景になる。美しい自然が当てはまります。ま

倉田さん 私が小さいころは、中野通りはコンクリート舗装だった。中野の駅は木造で、電車の後ろに貨車がついていた。銀座通りからは高社山に南照寺と、すごく格好いいロケーション。人通りが少ないのはもったいない。あのロケーションを生かせたらと思う。

清水さん 私が中野へお嫁にきたのは17年前。平成橋はなく、

畑の中の一本道と木鳥線があつた。

座長 木鳥線は分かりますか。

児玉さん 小学4年生のとき、廃止になると聞き、線路上を歩きました。

石澤さん 学校の高社山登山のとき、帰りに乗った記憶があります。

座長 私も同じです。

丸山館長 中野市のここはいいな、と思つたところはありますか。

戸谷さん 家(間山)から見る北信五岳の風景です。目の高さに雲があることに感動しました。



座長 公民館に何か思い出などはありませんか。

児玉さん 小学生の時、北部公民館のあるある探検隊、西部公民館のオカリナ、中央公民館では、灯籠びなをつくつた。あるある探検隊は田植えをやつた。オカリナは一から作るのと、演奏が楽しかつた。いい経験でした。

倉田さん 公民館活動に関わるようになったのは、小学校のPTA役員をやつたり、公民館役員ととんど焼きをやつたりと、

## 買物は昔はどいふ？

# 通巻600号記念座談会 しゃべくり

子どもたちを先導した。同世代の仲間と交流が深まるのも公民館のいいところだと思う。多くの人が気軽に参加できる企画をつくり、仲間の輪を広げて欲しい。

**丸山館長** 児玉さんが公民館事業に参加していたことを聞いてうれしい。大先輩の皆さんが公民館を愛し、いっぱい使ってくれましたが、もつと沢山の友達に使って欲しい。国際交流の集いで高校生が大勢来てくれるのがうれしい。公民館は、子どもからお年寄りまで使える施設を目指している。

**戸谷さん** 中野市は文化的な講座が多いのでありがたい。源氏物語や万葉集など、興味ある講



盛り上がった座談会

## 生活の楽しみ いろいろな企画を

座で活用している。生活の楽しみになっていくので、これから色々な企画を作って欲しい。

**石澤さん** 公民館で成人式実行委員をやったが、式の主催が公民館だったのは意外だった。

**高相さん** 今回、授業の一環で国際交流の集いに携わっている。月一回の会議だけど、初めて公民館事業に関わった。私は参加する側でなく、主催する側でやってみたくて。盛り上げるのが好きなので、参加するなら司会もしてみたい。

**座長** 若い方は、公民館というのをイメージしますか。私が小さいころは建物の名前だと思っていた(笑)

**石澤さん、高相さん、児玉さん** (うなずく)。

**丸山館長** 戦後、いい日本をつくろうとした活動の一つが公民館活動だった。疲れ切った村や町で、みんなで作ろう!と種を蒔いてきました。

青年団や婦人会など、色々なところで勉強しようという機運

が公民館の中にも起こってきた。今も、当時の皆さんが公民館で活動しています。そうしたいきさつで、今日の公民館活動があります。公民館という建物の名前になってしまいが、公民館活動とすると、色々な講座がありますので、ぜひ広めて欲しい。

**座長** 学校を卒業して社会人になったとき、スポーツや社会活動などの集団やサークルを探るのが難しい。何かやりたいとき、公民館などで提供していると思うとありがたいと感じる。

最後に一言ずつお願いします。**清水さん** 若い人や初めて会う人と話しができてよかった。自分の住んでいるまちを再認識できた。

**倉田さん** モチベーションが高い若い人が沢山いることがわかり、まちにとっても良いことだと思う。

**石澤さん** 言い忘れてました。今回の街並みの話で、家がある七瀬は扇状地の下にあるが、

教科書に載っているように扇状地に広がる中野市を見て、きれいだと思ったことがある。中野のまちも景色がいいので、誇れると思う。

**高相さん** 最初はこの座談会に参加するのが嫌だったが、普段話さない人と話をして、自分が思っていることと全然違うことが多かった。楽しかった。

**座長** 昨日まで知らなかった人や話(知識、体験)が今日の出会いにより、さらに一つ世界が広がった。これが何よりの財産だと思う。有意義な時間でした。

**丸山館長** 出会の不思議さにびっくりした。公民館ではコミュニケーション能力を高めることもテーマにしてきた。中野市はコミュニケーション能力が高いと思つた。人に伝えること、伝えるてもらふことを公民館でも大事にし、これからの中野市でも大事にして、いいまちにしたいことに結びついたら素晴らしいと思う。



**座長** 皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。(平成22年9月17日収録)

文化なかの /10.11

# 私の公民館の思い出

文化なかの600号発行を記念し、これまでに公民館事業に関わった方に、当時の活動の様子や思い出、また、これからの公民館事業に期待することなどをお聞きしました。

- ①関わった当時の様子やエピソード、思い出など
- ②これからの公民館活動に期待すること、やってほしいことなど



滝澤 貞夫さん  
(信州大学名誉教授)

①中野の皆さんはとても熱心で、じっくり古典を読み味わい楽しんでおられます。私はいつもこんなすばらしい教室の雰囲気につつまれてきました

或る受講者がN県の友人が地元の公民館の講座に出てみたら、私語が多く講師が再三、静かにしてくれと声を荒げる始末、それに較べると私達の

この市の姿勢には頭が下がります。是非共輝かしい伝統を自覚され、この伝統を守り続

り起こす努力が大切。ちなみに、前述の養老孟司先生講師の21市民講座では、ときあたかも市の大合併が始まるタイミングで、未来の大中野市をどう構築していくか根源的などころから「思考する力」が求められた。そのことについてこたえてくれる講師は広く国内を見渡して養老孟司先生をおいてほかにないと思つた。講座の企画、実現には探究心、情熱が必要ですね。心してかかることは、何でも去年のとおりにとりという体質に陥らないことでしょう。

た。この皆さんの熱意に応えようと、私は中野へ向う電車の中で、今日読む予定の個所を読み返し、公民館に着く迄内容を考える事を続けてきました。振り返ってみますと、この一時間に満たない学習が実に貴重で重要な得がたい機会になりました。

所は全然違うと私に話してくれたことがあります。中野の講座は私にも楽しみを感じさせてくれる最高の講座です。②江戸時代の天領中野は、全国的な高いレベルで学問・芸術・芸能などあらゆる分野の中心地でした。その伝統でしょう。今も周辺の市町村に較べて、文化的な分野に多くの予算を割いておられます。

「万葉集」の講座は、毎年大部な講義録を作っておられます。お忙しい中で何十頁にもなるものを作られるのは大変でしょうが、できることなら継続してください。実は、県下の高校の先生方が何人も授業で活用しているのです。こんな思いがけない所での利用もあるのですから。



清水 正さん  
(前中央公民館長)

①人が来なくて閑古鳥がいない講座と人が押し寄せた講座は、企画した講演、講座にどれくらいの方が来てくれるかということでした。その担

当、公民館の力量が問われることでありました。大学の出前講座だからといってあまり吟味もしないで開講したことがあった。当日を迎え開講時間になっても誰も見えず、五分ほど過ぎたころやっと二人ほど見えられた。急いで公民館職員をかり集め5〜6人にして始めたことがあった。ちなみに講師の先生は100人分の資料を用意してくださっていた。失礼を詫び、恥かしい思いをした。反対のこともありました。養老孟司先生を講師

に招いての「なかの21市民講座」のときは300人制限の講堂にその2倍を超える人であふれたときがありました。翌日そのことが消防署に知れ、安全面で注意を受けました。②講座・教室・講演の企画で大事にしていきたいこと

長年の勘のようなもので、ある程度の人集めはできる。しかし公民館の使命は市民の生涯学習の拠点といわれていることから講座、教室、講演を企画するときは、そのときの市民の「学びの課題」を掘



徳武 知重さん  
(元公民館職員)

①私は社会構造が変化した、一九七〇年から八〇年代にかけて公民館に在職した。事業は拡大途上であった。市民や専門委員などの声を聞いて新設し、新規の人たちを公民館に呼び込んでいった。

ループなどの活用にも心掛けた。公営結婚式が盛んであった。春と秋の吉日には、挙式が二つも三つもあった。公民館は寄り合い場所のように、大勢訪れていた。それらの人たちと話をする中で、情報を得たり、活動のヒントを貰ったりした。年末には、利用団体によって公民館の大掃除が行われた。建物は古く、床はぎしぎしと音を立っていたが、みんな愛着をもって大事にしていた。



安藤 一生さん  
(元公民館非常勤主事)

①成人式の取り組みについて成人式への新しい試み。中野市においては、例年1月15日の成人の日、公民館による運営で、第一部式典、第二部アトラクションによる構成で

盛大に成人式を行ってきました。来年度はそれを、成人該当者によって実行員会を組織してもらい、式典の持ち方、アトラクション等を研究して、次のような実行委員会の組織ができるように考えたのです。一、昭和62年の成人式を自ら参画し、思い出に残るものとする。二、組織は非常勤主事の勧誘により、各地区男女1名づつで、市内18名で組織する。三、成人該当者とする。四、運営目的を達成するために中央公民館と協力して作業を行う。五、経費は公民館の予算の範囲で行う。これが現在も続いている成人式のあり方です。②成人式に思うことは、式典が始まる時間になっても入口にいる人がいることです。成人式のたびに問題になりました。どうすれば全員一堂に会場に入場するのか、何時も悩みの種です。現在はどのようにするか。都市部においては、問題のある成人式があります。中野市の場合はいい方だと思えます。

②今日、社会教育は生涯学習と呼ばれている。網羅的な団体は減少したが、目的別のグループは増えている。これらを育成し、社会的活動を高めてい

けば、生涯学習社会は有効に構築されていくであろう。一方、地域は停滞感が強い。公民館は設置の精神に見られるように、地域振興を生み出す場所であって欲しい。

求められるのは、地域活性化など、必要課題の学習と実践を、住民と協働で進化させていくことではないだろうか。



今井多恵子さん  
(公民館専門委員)

①私が公民館に足を運ぶようになったのは、第二子が三才に

なる全家庭に、「子育てについて学びましょう」というような趣旨で出された、昭和53年度の家庭教育学級受講生募集の葉書でした。ひとりっ子をどう育てていこうかと思っていた時だったので、すぐ申し込み、専門委員さんに託児をしていただき受講しました。「お母さんのお勉強又いこうね」という息子の言葉に押されながら、毎

回手をつないで公民館まで歩いていったのが、つい昨日の事のように鮮明に思い出されます。そして54年に受講生を中心に公民館の子育てグループとして「つみきの会」が誕生しました。時代と共に会員が減り今は10名足らずですが、発足当時と変わりなく月一回の例会日を持ち、公民館利用団体としてお世話になっています。尤も、

何年か前からは、自分育ちや老いを考える会になっています。つみきの会が出来た頃、子ども劇場を紹介されました。会議や鑑賞例会の会場等で公民館を利用させていただきました。又ひとつ関わりが増えました。そしていつの間にか、家庭教育学級専門委員として、講座開催や託児に関わるようになって

りました。昼間の日本語教室の託児の話も当時の館長からいただきました。一時仕事の都合で遠のいていましたが、今は又楽しんで参加しています。ひとつの出会いからいくつものつながりが出来ました。歴代の館長や職員の方の指導があったからだと思います。公民館は文字通り私の生涯学習の場であると思っています。



懐かしい紙面を集めてみました。  
こうしてみると、多くの方に支えられて、ここまで  
きたと思います。

通巻600号 念  
紙面から見た  
文化なかの

中野町の  
「文化なかの」  
創刊号  
(昭和23年11月)



通巻第400号 (平成6年3月)



通巻第100号 (昭和42年2月)



通巻第300号 (昭和60年11月)



通巻第200号 (昭和51年12月)

公民館報とよた最終号  
(平成16年12月)

公民館報とよた第1号(昭和31年11月)

公民館報 とよた  
第254号

発行/豊田村公民館 発行所/豊田公民館事務所 発行日/平成16年12月18日  
代表/佐竹七夫/豊田村公民館事務所(豊田村公民館) 電話/090-38720 FAX/090-3873389

太極拳教室

豊田村が発足しました  
明るい村造りは堅実な社会教育活動から生れます。公民館活動を私達の手で推進させましょう。

第1号  
発行所 豊田村公民館  
発行人 永井 伸 廣  
編集人 白根誠昭(豊田公民館) 白根誠昭(豊田公民館)  
印刷所 田成社印刷所

豊田村が発足によせて

解村式舉行 透畑村

公民館報とよたは、  
昭和31年から平成16  
年までの間、254  
号を発行しました。

文化なかの  
No.4  
中野市公民館  
2005  
No.1  
通巻533

新中野市 人と文化の行き交う橋

特集 平成17年度  
中野市公民館運営方針

- ◆こんには分館「長元坊分館」
- ◆ふるさとの歴史「長元坊周辺の松林」
- ◆グループ紹介「加油会」
- ◆平成17年度非常勤主事・分館長・分館主事名簿
- ◆今月の伝言板

季節のコラム  
めぐり来た春に輝く一年生

春に輝く一年生  
めぐり来た春に輝く一年生  
めぐり来た春に輝く一年生

あおぞら

文化なかの/05.4

通巻第533号  
新中野市としての第1号  
(平成17年4月)

文化なかの  
No.500  
中野市公民館  
2004  
No.1  
通巻500

おかげさまで祝 創刊500号

500号記念号

特集 歴代編集委員と下の力持ち  
〜おもひでり〜  
「文化なかの」の歴史

あおぞら

文化なかの/02.7

通巻第500号(平成14年7月)

これからもよろしくお願いします

文化なかの  
No.600  
中野市公民館  
2010  
No.11  
通巻600

祝文化なかの通巻600号

中野市公民館  
2010 No.11  
発行 中野市公民館  
編集 中野市公民館  
印刷 田成社印刷所

あおぞら

中央公民館ニュース 祝600号発行(‘w’)之年。ご寄稿さんがあふれました!

通巻第600号(平成22年11月)

公民館報「文化なかの」が、700号  
1000号と続くよ  
うに皆さんの応援を  
よろしくお願いま  
す。

# 郷土の歴史を刻み続ける館報「文化なかの」

「文化なかの」は、今まで、平成14年7月の500号発行以来、八年を経て600号に達しました。住みよい社会づくりに取り組むために、地域の人ひとりが抱えている考えを自由に発露する場として、学習素材として、地域の連帯を深めることなどを願って発行されてきました。時を重ね、時代を経るごとに館報は社会や公民館の活動を紡ぎその重みを発揮してきています。

## 通巻500号から600号まで 八年間の中野市公民館の活動

○新中野市発足（平成17年4月）旧中野市と旧豊田村の合併により、中央・北部・西部・豊田の四公民館体制となり、ほかに永田地区館・73分館（中央23分館・北部21分館・西部15分館・豊田14分館）となる。

○成人式の統一  
平成18年公募の成人式検討委員会の協議を反映し、平成20年5月4日から統一して実施。



平成20年度の成人式の様子

○子ども育成事業の充実。  
事業の実践をまとめて「汗みずく」（平成14年）「まなざし」（平成17年）

と「てまねき」（平成21年）を発刊し事業の一層の充実を図った。  
○なかの21市民講座



平成20年度なかの21市民講座の様子

平成14年（川田殖・立川昭二・秋山仁の各先生の講演）・15年（伊那かつべい・清川輝基の各先生の講演）・小林大作先生のオペラ）・16年（小林大作先生のオペラ）・17年（養老子晋司先生・内山節先生の講演・ジェフリーさんのトランプット）を実施した。18年より公募によるなかの21市民講座運営委員会により実施する。（川勝平太・高橋史朗の各先生の講演）19年（宮崎稔先生とパネルディスカッション）・20年（服部幸應先生の講演）・21年（平田オリザ先生の講演）・22年（平田オリザ先生の講演）

リザ先生の講演とワークショップ）の講座を実施してきた。  
○子ども音楽講座「ミュージカルを楽しもう」（指導・嶋崎裕美先生他）を実施し成果をあげる。  
○公営結婚運営委員会が解散する。基金で机など公民館備品を寄贈していた。（平成22年3月）

○工事は、アスベスト除去（中央21年度）・屋根の塗装（北部17年、中央22年）・耐震検査（中央21年）を行う。

## これからの中野市公民館のあり方

地域コミュニティをつくった日本の公民館の歴史やあり方に世界の関心が向いています。  
・行政と民間のパイプ役としての公民館は、地域課題への的確な気付きを求められています。

・生涯学習の拠点（生きがい・教養・地域学習・家庭教育・子ども活動・コミュニティ）・伝統文化の継承・学社連携・ネットワーク作り・「集い・学び・つなぐ」・地域社会を創る・チャレンジしながら地域の皆様に愛される公民館にし、音楽、文化の都市づくり等、現状や願いをふまえて公民館の進むべき方向を考えたいと思います。

おかげさまで年間、約12万人からの市民の皆さんに4公民館を大切に考えご利用願っています。

かつて、公民館の中に、図書館があり、人権教育や、福祉教育に関する活動を行っていたが、少子高齢化が進み、地域が拡散したり、一部過疎化が進んでいる現在、地域のコミュニティをどこで支えるのが良いのかを決め

だすことが必要です。分館の組織や活動を見ると地域のコミュニティの核としての公民館の存在は重要です。福祉・安全・防災・連携・娯楽・学習・互助・平和への願いなど多様な価値観によって形作られている現代社会において、地域コミュニティ活動の停滞も見受けられます。社会現象による公民館の利用者の固定化、施設の老朽化、事業の縮小化などが課題です。人と人とのつながりが薄れつつあり、さらに多様な生き方が必要になってきている今こそ公民館活動を中心とした地域のコミュニティ活動の活性化をすすめることが大切であると考えます。「経済力」と「文化力」は車の両輪といわれているが、今後も「より人間らしく」を、地域でも培っていくことが大切です。経済力と相まって、文化力の向上やそのためのコミュニケーション力（対話的な発想や表現力）の向上は住みよい地域を実現するために重要な要素と考えて公民館の学習の中に取り入れられてきています。

今後も、生涯学習の最先端の機関としての公民館は、築いて来ているネットワークをさらに構築し、公民館の原点でもある・社会教育の一機関・市民の交流の場・中央文化と地方文化の交流の場・郷土振興などのため多くの皆さんの参加のもとでの活動を進めていかなければならないと考えています。

どうか、今後とも公民館活動への変わらない情熱とご支援をお願いいたします。「文化なかの」のさらなる発展を祈念いたします。

（文・丸山中央公民館長）



# 「文化なかの」が出来るまで ～編集委員会ってどんな仕事?～



編集委員会（委員10人）では、事務局の中央公民館職員と共に毎月1回、会議を行い「文化なかの」を発行しています。ここでは、編集会議や仕事内容を掲載します。目立ちませんが、けっこう人知れずがんばっているんですよ。

## 先月号の反省からスタート ちよっぴり緊張も?

編集委員長のあいさつに続き、反省会から会議が始まります。事務局に届いた声や、発行さ



会議は、月1回、平日の夜間に行います

れた紙面を見ながら意見を出し合います。

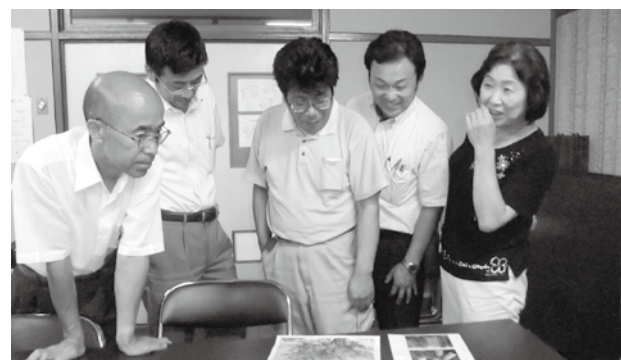
「お叱りの声」がないか、ちよっぴり緊張感も?「お褒めの言葉」が届くと、会議の雰囲気は一気に和らぎます(笑)

## 次は翌月号のチェック 会議は和やかに

例えば、4月の会議では5月号の予定稿がすでにできています。言葉遣いや誤字脱字、内容、紙面デザインなどについて話し合います。気楽に意見を交わし、会議は賑やかです。

## 今後の企画を考える 沈黙から徐々に前進

今後、何を掲載するか?ここで一気に会議が静かになります



力作そろいで選ぶのが大変です

## 「花郷」の写真選び 協力に感謝感激

今後の企画が定まれば一安心。あとは「こんにちは分館」「あおぞら」などの順番を確認しあつてほぼ終了。最後に「花郷」の写真選びを行います。

。ゼロからアイデアを生み出す難しさに、時間だけが過ぎていきます。けれども、結局はなんとかなるもので、普段感じていることなどを気軽に声に出していくと、段々と方向が定まってきます。10人揃えば文殊の知恵ですね。

「花郷」は現委員の発案によるオリジナル企画です。毎回休まず写真を送ってくれる方、何回も送ってくれる方、初めての方など、みなさんの協力に感謝感激です。

いかがでしょう?これがおよその編集委員会の仕事です。これからもがんばりますので、

ご愛読のほどよろしくお願ひします。



## 文化なかの編集委員

- 荻和 武史
- 上田 光朗
- 柴本 倭子
- 倉田 隆志
- 小池 久志
- 大塚 昌克
- 清水 幸美
- 江口 武文
- 池田 俊哉
- 小林 博幸
- 鳥羽 法祐 (事務局)
- 鈴木 貴 (前事務局)

# こんにちは 分館

岩井東区は世帯数36戸の小さな区です。分館活動としては、夏の倭大海水浴・倭地区敬老会・北部公民館文化祭への参加、また区独自事業としては、人権教育懇談会・道祖神作りなどが主な事業になります。

以前は、分館長・主事・主事補の3名で活動し、年1回の館報を発行していま

## 岩井東分館

一人だから大変ということもなく、時には区長さんをはじめ各役員さん、PTAの方々、その他区民全員の協力を得て、活動しています。

また、グループ活動も盛んで、25年ほど続いている大正琴を筆頭に、生け花、ハーモニカ、ゴルフなどの活動がほぼメンバーが変ること



敬老会での大正琴の演奏

なく、仲良く活気よく行われています。  
(分館長 和田英俊)

## ふるさとの歴史

岩井東には、明治末年まで産土神「伊勢社」があった。祭神は天照皇大神である。伊勢社は神社地・社殿・献灯・旗竿小屋等を備え、年々氏神祭を岩井東で行ってきた。

## 産土神「伊勢社」のゆくえ

併により明治41年2月伊勢社は岩井の日里御宰建神社へ併合される事になった。これにより伊勢社の名は消えたが、天照皇大神は日里御宰建神社の祭神におさまったから、いかなれば伊勢社の発展、解消である。

ある旗竿小屋はそれぞれの区の財産なので、修理等は各區ですること。さらに平成7年11月には、旗竿小屋を実際に使うのは日里御宰建神社だから修理費は神社費から出すと決めている。

(田中 毅)

旧伊勢社跡地は岩井東区所となった。旗竿小屋・献灯などは日里御宰建神社用として残された。昭和36年9月旗竿小屋の新築について次のような申合わせをしてる。岩井と岩井東に

こうして旧伊勢社・旧日里御宰建神社の旗竿小屋は新日里御宰建神社用として存続しているのである。ところで日里御宰建神社の例祭は9月30日だったが、氏子等の都合により、今はこの月の土日になっている。しかも主として例祭は岩井、新嘗祭を岩井

第38回

日時 12月5日(日)

午前9時 開場  
午前9時30分 開演

会場 市民会館ホール

全席自由・入場無料

# 芸術祭

今年度の出演団体  
(出演順)

主催 中野市文化芸術協会  
中野市中央公民館

- 中野雅拵会
- 中野青年合唱団
- 中野ハーモニカ愛好会
- AZ Dance
- Ideal
- 聖風流中高吟剣詩舞道会
- 中野市演歌愛好会
- 藤華水恵の会
- 中野民謡会
- 中野民謡を楽しむ会
- 中野市歌謡愛好会
- ナチュラルムーブメント
- 3-2-1中野教室
- 花鈴会
- 照洲吟道会
- ことの音会
- 中野市落語研究会
- 日本民謡志なの会
- 花房流中野教室
- MIDORIトワールメイッ
- 中野民謡愛好会
- 藤華水美会中野教室
- 高社観世流謡曲連合会
- 清勸会中野支部
- 玉洲流玉錦会
- 白鳥バレエ学園中野教室

# 中野市 総合文化祭

## 今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

中野市公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	第34回 中野市婦人のつどい 〈内容〉中野哲良 ひとり劇場	12月6日(月) 午後1時30分～3時	中央公民館 講堂	中野哲良 先生 (せんぜもん)	<受講料>無料 <申込み>不要 ※どなたでもお気軽にご参加 ください
	しめ縄づくり講習会	12月10日(金) 午後6時～8時	中央公民館 講堂	大宮誠吉 先生	<定員>25名 <受講料>500円 <持ち物>花ばさみ(無けれ ばワラを切れるハサミ) <申込み>11月15日(月) から
	公民館ギャラリー 中野きりえの会のきり絵展				
北部公民館	高齢者大学	11月30日(火)から 2月15日(火)まで 午後1時30分～3時まで (全10回)	北部公民館 会議室	<受講料>無料 <申込み>11月19日(金)まで <持ち物>なし	
西部公民館	シニア大学	12月3日・10日・17日・24日 1月7日・14日・21日・28日 2月4日・18日・25日 3月4日 午後1時30分～3時 (全12回 毎回金曜日)	西部公民館	<講師>元中野小学校長 嘉生稀宗先生ほか <受講料>無料 <持ち物>筆記用具 <申込み>11月4日(木)から	
豊田公民館	高齢者学級 若さを保つ心とからだ	11月26日(金) 午前10時～11時30分	豊田公民館	嘉生稀宗 先生	<内容>元気な毎日を過ごす 秘訣のお話と手遊び、体操 <受講料>無料

どなたでもお気軽に  
ご参加ください

### 書道如水会講演会

日時 11月23日(火)  
午後3時～4時30分  
会場 アップルシティーなかの  
演題 「この頃 思うこと」  
講師 瀧沢 曲峰 先生

### 第3回おはなしフェスティバル in NAKANO

日時 12月4日(土)  
午後1時30分～3時  
会場 中央公民館講堂  
内容 世界各国のおはなしを楽しむ

\* どちらとも参加費は無料で、申込みは不要です。  
<問合せ先>中央公民館

## 第38回

# 文化展

期間 11月13日(土)  
～14日(日)

午前9時～午後5時30分  
(14日は午後4時まで)

会場 中央公民館

入場無料・湯茶サービスあり

中野華道会  
書道如水会  
書道信墨会  
書道綏陽会  
下高井美術同好会  
絵画一光会  
中野俳句会  
中野短歌会  
高社短歌会  
日本画萌芽会  
中野おもと愛好会  
フォトサクラ

今年度の出品団体

(順不同)



紅葉／一本木 (月岡尚雄)



晴れ間の天使／一本木公園 (TAKA)



初秋のバラ／一本木公園 (横山)



星蜂雀が飛んできた／一本木公園 (小林)

## 花と季節の写真募集

### 宛先

☎383-0025  
中野市三好町一丁目4番27号  
中央公民館  
☎222-2691  
Eメール c-kominkan@city.nakano.  
nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限ります・四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

## 季節のコラム

### 介護の日

総務省は、2010年9月15日時点の高齢者人口を2944万人と推計した。総人口は2000年からほぼ横ばいだが高齢者の割合は増加の一途をたどっている。

介護が必要な方も増加すると予想される。厚生労働省が2008年に「11月11日」を介護の日として設定している。

「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」を念頭に、定められた。

介護について改めて考えてみてはいかがでしょうか。

誰しも、いつまでも健やかに暮らしたいと思うものではないでしょうか。

それには、日頃から「人のために役立つ」「外出する」「趣味を楽しむ」など心がけることが良いといわれています。